

平成21年度「朝日町地域公共交通総合連携計画」に基づく事業 計画書(案)

1. 事業の名称

朝日町・山形市間直行バスの実証運行

2. 事業の内容

実施方法

「朝日町地域公共交通活性化協議会」が実施主体となり、朝日町の負担金及び「地域公共交通活性化・再生総合事業」を活用し、事業を実施する。

運行方法

山形交通バス(株)へ運行を委託する。

期間

平成21年4月6日から平成22年3月31日までのうち、平日に運行する。

運賃

(単位 円)

乗車1回あたり	中学生以上	小学生	小学生未満
	500	250	無料

定期券の種類		通学	通勤	定期券の種類		通学	通勤
片道定期	1ヶ月定期	6,000	8,000	往復定期	1ヶ月定期	12,000	16,000
	3ヶ月定期	17,000	22,500		3ヶ月定期	34,000	45,000
	6ヶ月定期	31,000	41,000		6ヶ月定期	62,000	82,000
	1年定期	60,000	80,000		1年定期	120,000	160,000

往復定期券に限り、山交バス寒河江宮宿線の左沢駅から宮宿まで、平日利用ができる。

ルートの設定

別紙のとおり

運行プラン

一日1往復(停留所は一部省略している)

往路	期間	郵便局	役場前	送橋		山本学園	山形駅西口	北駅西
	4/6~11/30 3/1~3/31	6:35	6:42	6:50		7:30	7:35	8:00
	12/1~2/28	6:20	6:27	6:35		7:25	7:32	8:00
復路	期間	郵便局	役場	送橋		北駅西	山形駅西口	山交バス 本社前
	全日	20:32	20:25	20:17		19:32	19:20	19:15

予定する主な実施効果

- ・山形市までのアクセス向上
- ・一般乗合バスの平均乗車密度改善

平成21年度「朝日町地域公共交通総合連携計画」に基づく事業 計画書(案)

1. 事業の名称

デマンド型タクシーの実証運行

2. 事業の内容

(1) 実施の背景

朝日町では廃止代替路線として、立木線、上郷太郎線を町民バスとして運行しており、主に通学や通院、買い物等に利用されています。しかし、人口減少、自家用自動車の増加により年々利用者が減少しています。さらに、集落が分散しており、バスでニーズに対応するのは困難な状況にあります。

そこで、より効率性が高く利用者のニーズにあった公共交通として普及が進んでいるデマンド型交通システムについて検討を行う必要があります。

(2) 予定する主な実施効果

アンケート調査による住民ニーズの分析、住民の合意

(3) 事業内容

実施方法

「朝日町地域公共交通活性化協議会」が実施主体となり、朝日町の負担金及び「地域公共交通活性化・再生総合事業」を活用し、事業を実施する。

事業内容

西部地区を対象に公共交通アンケート調査を実施し、デマンド型タクシー実証運行に向けた準備を進める。

期間

平成21年5月1日～平成22年3月31日